

## 講演会

# 「日本の自然史研究における シーボルトの貢献」



写真:シーボルトが日本から持ち帰った  
自然史関係標本、資料、植物など。



トキ



ハマナス。シーボルトがオランダに導入したもの。  
ヨーロッパで愛好され、今でも公園、道路等  
ごく普通に見かけられる。



オオサンショウウオ



ニホンオオカミ



植物標本

**日時:** 平成23年1月18日(火) 16:20~17:50(5時限目)

**場所:** 香川大学教育学部2号館 2F 遠隔教育調査研究室

**講師:** 山口 隆男 博士 (元熊本大学教授)

「知の協働を実現するディベロプメント・サイエンスの可能性」というテーマのもと、専門領域を超えた情報交換の場及び知的協同作業を実現するために、本講演会を開催します。

講師には、オランダに40回渡航し、精力的にシーボルトの調査研究を行っている山口隆男博士(元熊本大学教授)をお招きします。

お問い合わせ: 村山 聡 [muras@ed.kagawa-u.ac.jp](mailto:muras@ed.kagawa-u.ac.jp)  
滝川 祐子 [osakana@ag.kagawa-u.ac.jp](mailto:osakana@ag.kagawa-u.ac.jp)

\* 本講演会は平成22年度香川大学特別奨励研究の一部です。